

福岡民医連

会合御の6内
民連会地和の
泉岡市大字聖和の
福岡市1346番地
岡機主主
福岡市1346番地
福岡市1346番地
福岡市1346番地
電話 3520
発行 責任者 岩
丸

老人健診のとりくみ進む

いま県連各院所では第十七回全国総会方針にもとづいて老人健診のとりくみが進められて
います。
とりわけ北九院所では八月以来統一医局会議、主任会議や民主団体との対策会議などを
ひらいて準備をすめ、九月十六日から十日間の健診期間に全職員を総動員して健診を実施
しています。福岡、大牟田各院所もそれぞれ、健診期間をめざし準備活動を進めています。

北九院所のとりくみ

八幡・戸畑の各院所は健診
開始日九月十六日を前に、十
二日全職員がアンケート用紙
と問診カルテをもつて一せいに
地域の高齢老人や老人ホーム
を訪問して調査を始めました。
その結果十六日迄に録音四
五町上津野五七、大塚瀬五
三通を集めました。戸畑でも
三三三通が集り、いづれの場所
がほしい、「もつといるん
と話したい」など老人のい
ろいろな願いがつかまされま
した。また十七項目の老人の要
求を集約したビラ二万五千枚
をつくって、北九市職労、民
主労など労組をはじめ、民主
主団体と協力して、老人に渡
しました。

創刊のことば

会長 真角 欣一

昭和四十二年七月、九州
民医連の伝統を正しく受け
継ぎ、福岡県民医連が発足
して以来、篤然と当時の一定
の困難にも拘らず、民医連
組織の下に全院所が固く団
結して、医療活動を中心に
経営活動、社会保障、平和
を守る諸活動など、福岡県
の民医連運動は、曾てない
テンポで発展を遂げました。
この様な時期に、県民医
連の団結を更に強め、民医
連の発展を期す。



福岡地区でも準備がすすめられている

べて市医師会病院のみ
でやる、というこ
りかについて、千鳥
橋病院と宮田町診療所
の代表が集り、打ち合
せをしました。

福岡市の場合、老人
健診については、市と
医師会が、毎年契約を
結び、市医師会加入の
A会員(開業医)の医
療機関でやることに
しており、市の五五以上
の老人、約四万人に
対し、実績は一〇、す
しかも精密検査は、す

べて市医師会病院のみ
でやる、というこ
りかについて、千鳥
橋病院と宮田町診療所
の代表が集り、打ち合
せをしました。

この様な現状を打
開するに、当面次の
ようになりくみをする
こととして、

一、市と医師会の契約
内容、市内の老人タ
ラプの集積、老人健
診の予算、その使途

内容について、九月二十日ま
で調査を終了する。
一、以上の調査を終了したの
ち、資料を作成し、共產党
全生連、民高福建党、全日
自労、日同盟、新婦人、日
自ひかけ対策会議を九月末
診はすべらないとい
こととして、

一、宮田町の組織している民
主的老人クラブを市に認め
させる。(千鳥橋病院、岡)
向換診期間は四月から翌年
二月迄にわたります。

総会決定学習すすむ

「八月、九月総会決定学習
月間」のとりくみは老人健診
などで各院所は計画を要
延期などであり、それ
したが各院所それぞれ老健
施設に行きつて決めて
す。

さきにひらかれた教育委員
会では、第十七回総会方針と
県連総会方針、院所の医療活
方針とあわせ、具体的実
施後に行うことを決めて
す。

「八月、九月総会決定学習
月間」のとりくみは老人健診
などで各院所は計画を要
延期などであり、それ
したが各院所それぞれ老健
施設に行きつて決めて
す。

さきにひらかれた教育委員
会では、第十七回総会方針と
県連総会方針、院所の医療活
方針とあわせ、具体的実
施後に行うことを決めて
す。

私たちが診療所では大ざつ
ぱな浅い討議の中で総会を
迎えた、という状態であり
管理本部で総会決定を全職員
に広げたいと深く感じ
ています。

この様な重大な情勢の中
で、民医連に対する働く人
々の医療要求は、日
毎に高まっております。私
達は、この要求を期待して
働く人々の健康と医療
を守る運動を更に発展させ
るために、全院所が民医連
の綱領のもとに固く団結して
全力をあげてまいります。

この間に民医連本部が八月
九月、九月の総会決定学習月
間の通達が出され、運動方針決
定期が到着したため、いま
まわりの学習の意義がさら
に明確になりました。

また全部終了していないの
で、これをよくんだ中で、の教訓
は成果の点では、日
毎に高まっております。私
達は、この要求を期待して
働く人々の健康と医療
を守る運動を更に発展させ
るために、全院所が民医連
の綱領のもとに固く団結して
全力をあげてまいります。

宮田町診療所

学習する事をきめました。
福岡県連内でも大牟田の米
の山病院で、毎朝早朝学習
で深い討議が行なわれ、今
くれば経験の学がふたに七
十八日の管理会議で毎週、原
則として土曜日に早朝学習を
計画し運動方針を再学習す
ことを決め、少しづつ区切つ
て、管理本部が交互に学習指導
を担当し現在まで五回と
み後一回で終る予定です。

この間に民医連本部が八月
九月、九月の総会決定学習月
間の通達が出され、運動方針決
定期が到着したため、いま
まわりの学習の意義がさら
に明確になりました。

また全部終了していないの
で、これをよくんだ中で、の教訓
は成果の点では、日
毎に高まっております。私
達は、この要求を期待して
働く人々の健康と医療
を守る運動を更に発展させ
るために、全院所が民医連
の綱領のもとに固く団結して
全力をあげてまいります。

この間に民医連本部が八月
九月、九月の総会決定学習月
間の通達が出され、運動方針決
定期が到着したため、いま
まわりの学習の意義がさら
に明確になりました。

また全部終了していないの
で、これをよくんだ中で、の教訓
は成果の点では、日
毎に高まっております。私
達は、この要求を期待して
働く人々の健康と医療
を守る運動を更に発展させ
るために、全院所が民医連
の綱領のもとに固く団結して
全力をあげてまいります。

機関紙発行について

規約第4条第5項で機関紙発行をうたつています。規約にもつく重要な事業の一つとして1日も早く実現しなければなりません。

(県民医連第3回総会報告)

診療報酬引上げ斗争の強化について

9.16日 県民医連通達再録

九月九日の三役会 議及び九月十二日に 開かれた社保委員会 での全県民医連通達第 三十八号「九、九統一 行動」の診療報酬引 上げ斗争の強化につ いてを討議し、当 面の斗争のとりく みを次の通り強化す ることを決めました ので直に実践に移し て下さい。

去る九月十三日から三日間、東京郊外の読売ランドでひらかれた第三回職業病全国交流集会は、大成功のうちに終了しました。

増新らしい職業病が発生していることをものがたつています。きびしい圧迫をはねのけて参加してきた大銀行の労働者、職業病にかかり一時は死ぬことを考えたが闘うことに生きかえりをもつて参加した患者、労働組合もない中で闘う方向

第三回職業病交流集会に参加して
千鳥橋病院外科医師 江島輝彦
福岡県民医連としても医療活動方針をもとに早く医療活動を行う中で大切に奮闘する必要があると感じ、共に私個人ももともと努力しなければ明日のエネルギーをもつて燃つてきました。

第四回九州学術集談会
十一月三日(土)
北九州市戸畑区 戸畑文化ホール
特別講演
①労災職業病について
②老人問題について
特別報告
①労災職業病について
②農村医療について
③ファミリーについて
シンポジウム
「民間医療の現状について」
分科会 四分科会
「分科会」
「分科会」
「分科会」
「分科会」

第二回スポーツ大会 実施要領決る
九月十二日にスポーツ大会第一回実行委員会がひらかれ、次の様にとりまきました。
日時 十月十二日午前九時三十分開会
場所 北九州市戸畑区 日立金属体育館の予定
種目 ①ソフトボール(午前中)雨天の場合はバスケアット
②バレーボール(午後卓球と併行して行なう)
③卓球
④バレーボール
尚、昼食休憩時を利用してフォークダンスを行なう。
チーム編成
ソフトボール 戸畑・八幡・福岡・大牟田各一チーム編成
バレーボール チーム九人で男子は半数をこえないこと
新川診と天六診、木屋の瀬診と町上津役診
その他各院所一チーム計八チーム編成
(男女比ソフトボールと同じ)
卓球 チーム編成はバレーと同じ、一チーム四人(男子二、女子二)

第十七回全国総会決定学習計画
九月二十七日(土)午後部門学習、二九、三
十月二、三、四日に分れて早朝学習、十月一日早朝
全体学習、各自、全国と県連の総会決定と院
所の医療活動方針を強固にする。討議は医療活
動方針に照らして行う。

第四回九州学術集談会
十一月三日(土)
北九州市戸畑区 戸畑文化ホール
特別講演
①労災職業病について
②老人問題について
特別報告
①労災職業病について
②農村医療について
③ファミリーについて
シンポジウム
「民間医療の現状について」
分科会 四分科会
「分科会」
「分科会」
「分科会」

読者のみなさん
県民医連機関紙「福岡民医連」の創刊号を送ります。
「福岡民医連」の今後の系統的な発行と発展のためにはみなさんの積極的な協力なしには不可能です。批判や意見はどしどしお寄せ下さい。又通信や記事を送つて下さい。自分で運用する紙面を作りあげましょう。
編集委員会

読者のみなさん
県民医連機関紙「福岡民医連」の創刊号を送ります。
「福岡民医連」の今後の系統的な発行と発展のためにはみなさんの積極的な協力なしには不可能です。批判や意見はどしどしお寄せ下さい。又通信や記事を送つて下さい。自分で運用する紙面を作りあげましょう。
編集委員会

福岡民医連

全員がチューターになつて

全国総会方針討議

いま各院所では、老人健診などを当面する課題の実践の中でいろいろの創意を生かして、全国総会方針の討議を行つていますが各院所、職場での医療活動方針にもつとつて実践課題と結びついて行はれていられるのが特徴です。

町上津夜診療所は、九月中に院所部門の医療活動方針を作成し、十月大会決定と合せて討議し、土曜日に三回学習しました。

各項目別に責任者を分担し全員がチューターになつて討議を進めました。

討議の中では、診療報酬引き上げの問題、日雇健保の疑念、木屋瀬診療所は、全体で

制適用の問題などが出され全体がもつと保険制度のことを学習しなければいけないという意見も出されました。

又、医療活動方針の討議の中でもつと患者の層を広げ、当面健保国民の患者を増やし、慢性疾患患者の管理を強めるといふ方針が出されました。

もつと患者の中に入つて

通町病院

十七日運動方針の学習は、土曜日午後二回、早朝三回、二つの班に分かれておこなわれ、棟所では当番入り、当直明けで全員がそろわなからで昼休みを利用しておこなわれ、またこの学習の中で、棟所にお勤務してまだ一ヶ月もたない若手婦人は、「午前中の仕事をもつと整理して、午後は患者の中にはいって行き、精神的な看護に重点をおくべきではないか。そのために、個人の責任をもつと明確にしたい」と言ひ鋭い新鮮な意見が出されま



全体的に民医連医療をさらに進めようとする意気込みが感じられ、古い職員の新鋭な感覚と、新しい職員が経験と作り出した医療活動方針の一つの尺度にしながら、各部門でさまざまな活動が掲げられます。

毎月の点検活動で棚上げを克服

宮町診療所

私たちは一昨年医療活動方針をつくつてはいたが、いつのまにかどこか棚上げされたまゝとなり、職場では「そり言えば九かがある、いつかあつたかおぼえん」という状態となつていました。

今年の第十七回民医連総会方針を学習し討議するなかで、職場から一日も早く、管理部門を中心に全員で活動方針をねらふぞろろといふことになり、去る九月に新しい私達の医療活動方針案がつくられました。

医療活動方針をしつかり柱に

第三回民医連総会決定実践の第一の柱、医療活動方針づくりとそれにもつとつて活動は、いま各院所で着実にとられていっています。

千鳥橋病院では、医療活動方針の英訳の立場から、九月度の総括を行ない、「老人健診の実現のために、一層の努力をすすめる。三中心患者防町の集積の成果を重視し、住民のものとしてゆく。三日、中央診療所、中友診療所の総会をひらき、当面の活動目標として次の十項目を決定しました。

- (1)慢性疾患患者の管理、組織化にとりくもう。
- (2)健診活動を強化しよう。
- (3)東洋医学の実践を一層発展させよう。
- (4)公害をなくすために闘ふ。
- (5)職員の健康と生活を守る。
- (6)技術者対策を計画的にすすめる。
- (7)経営の発展強化に努力しよう。
- (8)民医連加賀五周年を記念し、院所の歴史をつくる。
- (9)教育、学習を強化しよう。
- (10)全院所、職員の間を何れも強化しよう。

をとりこんできましたが、最近ある現場で健康管理のため労働者が積極的に関与する管理活動に協力してきています。また、慢性疾患患者のとりくみで、最近までほとんどできなかった、患者訪問活動が医療社会担当の訴えにより、全職員が二人一組の班を編成し、退勤後に高血圧治療中断患者の訪問がとりくまれ強化されてきました。

また民主老人クラブ活動も六月、全国総会を通じ、全国の経験に学びながらつづけた

現在、この方針に沿い、院所内に各専門部をもち、全職員が参加して、すでに健診部は老人健診、慢性病対策は十月十七日、十八日の二日糸島郡二丈町福吉で「社会保険を拡充し、労災職業病をなくし、労働福祉増進医療労働者討論集会」が開かれました。この集会は、福岡県統計、福岡県医療共闘、福岡県保健共闘、中労連、労働協会の共催で開かれ、一九九労働主体体より約二百名が参加しました。福岡県民医連からは、助言者の梅田先生をはじめ、九名が参加しました。

第二回福岡県社保討論集会

社、労災・職業病、医療労働者の六分利会に分けられ、十八日午前まで続けられ、午後討論の総括を行ない、今後社会保険の闘いを七〇年をめざすための重要な柱の一つとして発展することを認識し、集会の幕を閉じました。

この討論集会では、働く人民の生活と健康を保障が進んでいる現状と医療機関への攻めを含めて医療保険の抜本改善を中心とした医療活動の現状と問題点が明らかになり、社会保険の闘いが如何に重要であるかがより確り動かし、その上で労働組合との面での闘いが確りあり、早急に闘う体制を確立することの重要性がよりきざり確認されました。

月以來滞状態にたつていましたが、十月に毎日を利用して例会と共にクラブ、補助金の老入健診がすすめられ、補助金申請をめぐって自治体に向けの運動が前進しはじめています。

こうしたなかで、管理部門では医療活動方針を再び棚上げ状態にしないため十月の活動から毎月、必ず活動方針について点検総括をやつていくことをめざしています。

…とそれぞれ部会をひらき今までにいろいろありながら活動がすすみつつあります。方針をつくらせてみて、改めて医療活動方針をもちつて、改めな意味を感じています。

第四回九州学術集談会の成功をめざして

第四回九州学術集談会をめざす各県連院所にとりくみは、昨年の六四題にたいして百題を超え、そのうち分科会を四つに...

全職員が参加して

宮田町診療所

点検総括が弱くなっています。私共は、自営現場管理活動は四題を出題するために、こうしただけでは、学術集談会を進めることになり、あらためて、この弱点が明確に...

私共は、自営現場管理活動は四題を出題するために、こうしただけでは、学術集談会を進めることになり、あらためて、この弱点が明確に...

大牟田では、職種毎に準備をすめています。例えば、中友の看護部門では、自致した患者をめぐって...

米の山の看護部門では重症患者の看護をめぐってあきまてくる諸々の問題、患者が疾病との闘いに負けないための援助にたいして、今年度の活動目標としていた。日本を代表して集談会にとりくみます。

百十七名受診して正常者たつた六名

九月十六日から十日間の北九州市老人健康診査(第二次)に積極的に行きつきました。特徴は、全職員が各病院に分れ...

全国事務長会議に参加して

米の山病院

十月十日から二日間全国民医連事務長研修会が行なわれました。民医連として、何故自殺しなければならぬか、たかか追及されて居り、事務では、公選競争の事務部門の役割は何が討論されています。

千鳥橋病院では、江島輝彦先生を中心に四人で院内実行委員会をつくり、各職能に実行委員がおかれ、十月五日に...

新川診療所では戸塚区、六〇の老人クラブのうち二四クラブを担当し、十月五日に行きつきました。...

老人のおかれている状態、老人の要求を身近に、しかも新鮮な感覚でとらえました。ある報告は「老人の個別訪問をやつて、老人のいろいろな苦勞が良くわかつた。老人の調査の意識がわかつた。」と報告されています。

米の山病院・中友診療所

は十一月五日から三十日まで、の検診日を目指して準備が進められ、千鳥橋病院・宮田町診療所でも自治体や医師会交渉を行つて老健のとりにくみをすよめています。

第二回福岡県民医連スポーツ大会

秋の快晴にめぐまれた十月十二日、八幡で開かれました。

専攻、ソフトボール、バレーボールの総合成績は次の通りです。第一位 新川・天六診療所、第二位 通町病院、第三位 千鳥橋病院

九六民医研が結成されました。九月十六日九六民医研学術部講習会、全国民医研集談会に参加した学生を中心に二三名が集り、報告会をひらきました。

米の山病院・中友診療所は、高血圧患者を中心に患者会を作り、食事療法、パンフレットを活用しながら老健の結果を知らせていく計画です。

木庭診療所は、〇〇名で、高血圧患者を中心に患者会を作り、食事療法、パンフレットを活用しながら老健の結果を知らせていく計画です。

福岡民医連

福岡県民医連
 市大字室柏御
 154番地の6
 福岡民医連
 電話(64) 3520

行 責 任 者 明
 発 行 者 香 春
 発 行 所 荒 荒

民医連本部からの激電

十一月二十二日付

福岡県民医連宛

日本全土の沖繩化をねらつた日米共同声明のもつ
 危険な内容を徹底的に暴露し佐藤内閣と自民党を
 キノウダレするためケンキリ総選挙での大躍進のため奮闘しよう。

民医連本部

全職員が立上り、民主勢力の 勝利のために奮闘しよう。

総選挙に当つての会長の訴え

佐藤、ニトソン日米首脳会議により、その「成果」なるものを一方的に宣伝し、「早ければ早い程有利」ということで、日米会談のギョウ的な内容を国民に目かくしのまま「八日告示、二十八日投票」といふ策謀を張っており、事実上総選挙は告示をまらずに火ぶたがきられており、既に終盤戦に入ったといわれております。

こうした中で、全院所が「まじかに迫つてゐる総選挙は、独立・民主・平和・中立・生活向上の日本への道を切りひらき、人民の生活と権利・健康と医療を守る上で重要な選挙であり、民医連機関報の為に全力をあげて奮闘しなければならぬ」との運動方針及び、第三回理事会決定（十一月十一日民医連新聞）「総選挙方針について」（福岡県民医連第八回理事會報告）の具体的な選挙方針に基つて、早急に全職員の意志統一をもち、院所ごころみ、地域ごころみの選挙のぞむ体制を作り上げることに必要です。既に我々の血となり肉となつてゐる、一月北九州市議選、七月の東京府議選の闘いの経験と教訓を生かし、勝利の展望と確信をもつて、全職員が立上り、診療活動、集積活動を通じて患者・職場・地域の人々に働きかけ、結びつきを強め、総て民主勢力と共に安保条約廃棄、沖繩の全面返還、くらしと健康を守るために、共産党を先頭とする民主勢力を大躍進させるために全力を上げて奮闘しよう。

二九日に臨時總會を召集して、佐藤首相の日米首脳会議の報告と、代表質問の直後被打解散をすると言ふ佐藤自民政府の党利党略的な解散の策謀を以て、いま県民医連院所では、院所ごころみ地域ごころみの活動をめぐらして、民医連としての選挙方針の院所と全職員の意志統一や活動方針にもとづく活動を土台にした選挙方針の計画と大量宣伝計画や、それにもとづく活動など一せいに開始されております。

北九六院所ではそれぞれ後援会の発会や再開を行つて後援会活動を開始しました。大量宣伝では民医連としての統一ポスターや週一回の後援会毎のニュースの発行、藥品運搬車をニュースカーにして常時宣伝するなど創意ある活動が進められています。千鳥病院院所では十二月二八日結核總會を開いた後援会の活動を急進してつめていきます。病院としては中断患者訪問や、医療懇話会、未収金の訪問など患者との結びつきをすすめてつめてつめる計画など医療活動をキにした選挙活動をすすめてつめてつめます。また後援会活動を特別休暇を認め活動を保険してつめます。すでに二十一日から炊きだしをやつており、医療団の宣伝学校も開かれました。また小型拡声機二台を購入し、ニュースカー二台を仕立て活躍してつめます。宮田町診では国保の政策宣伝と疾病別患者名簿にもとづいて周遊視察を組織する、などしつかり医療活動が急進した選挙活動が具体化されようとしてつめます。こうして全院所が急進した選挙活動を強めてつめますが、一面、大量運搬と全職員にまつたよめてそれと選挙を結びつける具体的な計画、それにもとづく一人一人の任務配分など決してまだ充分とは云えません。いまこそ、総選挙に当つての会長の訴えにもとづいて、労働者階級の医療陣と大団の立場から民医連の選挙方針でしつかり意志統一することが極めて大切である。全職員一人残らず立上るため一七〇の努力を払はなければなりません。



民医連宣伝学校に参加して

飯塚民診 高 渡 保

十一月十八日、十九の両日民医連の宣伝学校が長野県山内町で開かれ、私は健康文化会の青山君と共に県民医連代表として参加しました。青森、山形を除く二十三県連よりの参加者は本部を含めて七十八人で、学校はまず山内町長挨拶と全く異なり、日本共産党の町長として民主町政を満々と実現している姿を浮き彫りにし、町長選挙の時の宣伝 equal についてもその要点がふれられ、まさに参加者に対して学習のテーマを大胆に投げかけたものであり民医連宣伝学校の序曲としてふさわしいものでありました。

志賀高原、湯田中、渋温泉を抱える著名な観光地でどうして共産党の町長ができたのか、事実湯田中の電停を降りたところ、パツと目にとび込んでくるきれいな湯の町を見て一瞬そらした疑問をもつたのは決して私一人ではないでしょう。「徹底的に大衆の立場に立ち、大衆を要求で組織し、大衆と共にその実現をもちとる」、村瀬町長の自信にみちみちた言葉は宣伝活動に最も重要なもの、片時も私たちが手離してはならない教訓です。

ついで日本機関紙協会の福岡隆氏の講演と講義でしたが福岡氏の話は宣伝の理論をそのまま実践した模範ともいへる素晴らしい話でした。

寝台車のない車の中で前の晩殆んど眠らなかつた私です。それで私くて「九州の居眠り男」といふ余り有難くない評判で通つてゐるのですから恐ろしく一日はとて目をあけてはほらめいと覚悟してついたのですが講師の巧みな話術にすつかり魅惑されて目をパチパチさせながら一言半句も聞きもせずに耳を傾けてきました。（ウソではありません）。

自分のところではまるで機関紙も出さず専ら他の院所からもらうばかりの私は本当に恥づかしい思いをしました。何よりも私たちが民診が責任を負わねばならない住民に対し申訳ない、宣伝活動を旺盛にすることなくして民医連運動などとは口ばかりつたことは云えないとつくづく反省し、大いに奮闘しようと思つて帰つてきました。

大牟田で老人健診が行はれています

十一月五日より月末まで予定で行われて居り、今年からは同時に精密検査が行える簡所ワンタッチ方式をとられてつますが、診査内容が政府の枠を一つも出ていません。

「健康を守る共闘会議」でも老健の重要性を承認し、市に共闘会議として、①対象者を六十才以上、②診査内容の充実、③全額公費負担、④老人医療費の無料化、などを中心とする九項目の要求書を出してつます。

親仁会の三院所は、健診対策部を中心に受入人権制などをとりくみてもらつたが、老健に来たか年寄りの人たちは「昨年は近くの医院でいろいろ自分たちの境遇を話してくれました。月来には自労の老人現場での健診が予定され、いよいよ忙しい毎日になりそうです。また、今年には健診のやりつばなしにならないよう、結果をどのようにかえして行くか検討してつます。

油症患者対策のとりくみを
急いでつよめよう。

昨年八月高峯としてさわがれた社会問題化したカネミライスオイル中毒事件は被害者一三、四〇〇人、罹患者九六三人、すでに五人の死亡者が出ています。すでに九大油症班の調査でその原因も責任者も明らかになっています。すなわち保原も治療の方法もなく云うに云われぬ苦しみか迫りだまっています。去る十一月十六日、衆議院会議主催で行なわれた現地調査に県民連合会長はじめ北九院所を中心に七名が参加しました。県民医連としては医療活動を中心に急速にとりくみをつよめて、今までの立おくれをとりもどし、「いま私達がほしいのは本当に心から被害者の身になつて診て下さるお医者さんです」(九州学術集談会での油症患者代表の訴え)と云う痛切な患者の要求と期待に応えなければなりません。

カネミライスオイル中毒事件現地調査報告

町上津役 田中 鈴子

- 事件の状況(患者数九四一名)
- 昭四三 八月上旬 九大皮フ科で奇病かつかる
 - 一〇一四 福岡地区被害者の会発足
 - 一〇一五 カネミライスオイル営業販売停止
 - 一〇一六 カネミライスオイル営業販売停止
 - 一〇一七 国が第一回原因調査
 - 一〇一八 第二回
 - 一〇一九 田川地区カネミライスオイル被害者の会発足
 - 一一一〇 厚生省、中毒の原因はライスオイルと断定
 - 一一一一 口頭にてカネミ倉庫を告発
 - 一一一二 油症の疑いのある者、精密検査
 - 一一一三 北九、田川、第一回被害者の会総会
 - 一一一四 営業停止を解除
 - 一一一五 販売
 - 一一一六 地方自治体は、原因はカネミにあるとはつきりしてゐるのに、地方自治体が補償行為をするのは問題がある云々つけてける。
 - 一一一七 県が一入当り見舞金を三〇〇〇〇〇円支給
 - 一一一八 営業再開を許可
 - 一一一九 山口県で二十四才の少年死亡
 - 一一二〇 福岡県後援で二十五才の青年死亡
 - 一一二一 山口県、十四才(中学二年) 昭四三二月まで両親の勤務する職場で取扱つてゐた。
 - 一一二二 顔面に、ニキビ状の吹でも(両親は子供の生長が早いと喜んでた)その内、皮フ、ツメが黒くなり、家族にも症状が出て来た。
 - 一一二三 保健所で油症と診断され(重症)山口大に油症外見が良くつて来たしたので治ゆするだろうとの医師の見解
 - 一一二四 水害の為、休校(両親は勤務で不在)
 - 一一二五 玄關で手を上げ、胸苦を訴える。近所の人から声を聞かかけつた時は意識不明のまま、胸をかきむしりながら死亡
 - 一一二六 山口医大解部り結果 胸心肥大、副腎に異状
 - 一一二七 火葬人の話 全身の骨がまっ黒
- 患者の声
- 〇 腹痛、はきけ、胸が苦し、目やに、皮フの色が黒くなり、吹出物に脂肪がたまり、関節等にコブが出来、切開して切り取つても傷口がふさからない、頭の痛み、手足の痛みやしびれ、神経痛が出る、出血が何カ月も続き、目がかすみ、一本の線が二〜三本に見える、いかと語る(二〇〇年)

皮フの表面はでこぼこになり、膿がたまり悪臭を放つ、体力が落ち、風邪を引き易く余病を起しやす。

〇 診察が不親切である。
センター病院や、九大で色々な症状を訴えても、ツメの色等、油症とは関係ないと言われ、それでもな訴えたら、あなはそんな油症患者にないか云われ、その細る思いをした。
定期的な検査をしてほしい、又その検査結果を全く知らせてくれないので知らせてほしい。又最近では全く診察をしてくれない(検査室のイスにすわらうだけで、もう分りましたので薬をもって帰れと云われ)

〇 治療費の取扱いがどうなつてゐるのか分らない。後で本人に請求がくるのではない不安、交通費も自分で払つてゐる。生活も苦しい保健所等が調査に来る時、罪人扱いで開る。
調査用紙等にエンピツで書けと指示される。
昭和三十七年森永ミルク事件、サリドマイド、水俣病、チクロ等、食品公害のどれ一つを取つてみても、人災に依つて起り、子供に、夫においしいものと思つて、一生懸命料理し、準備したものが、一部食品独占の利潤追求の為に、労働者労働市民の身体をむしばまれてくることなど、目をおぼろげに、努力します。前々から、新聞、報道関係で知つては居りましたが、このライスオイル現地調査に参加して、医療従事者として、又同時に、主婦として何とも云い様の無い、いかりと、にくしみを新たに感じました。

町診で当初事件が起つた時、アンケートを取つたり、ライスオイル集めたりしましたが、その後系統的に追求されずそのままにたつてゐます。大会決定でもあきらかな様に、労災・公害問題を真剣に取組み、患者の要求を聞きながら、病気の根源を追求し、患者と共に闘いを進めなければならないと思ひます。

今、油症患者は九大、あるいは北九のセンター病院に入院中ですが、それらの医療に対する不信は増々強くなつてゐますし、又現在のところ、全く治療法もないと云われていますが、真利先生は漢方、針、灸、等色々な治療法があり、展望はあると発言され、民診があることを知つて、かなりの期待がよせられてゐますので、町診でもこの問題と取組み闘う必要があるのではないかと強く感じました。

私はこの問題の解決かして食品公害の解決はありえないと考え、当面の闘いとして、カネミ会社に責任を取らせること、福・県地自治体の責任の追求とあわせて、今後の総選挙とを結びつけて闘わなければならないと決意して参ります。

現地調査に参加して

千鳥橋病院 山里 将進

この調査には、遠く山口県からの患者も含めて、四五名の油症被害者の出席があり、いろいろの事が話されました。この調査に参加する中で、私は油症の真の原因がもうけ本意、人命軽視の自民党の政治、食品衛生行政にあることを知り、これと闘うことになり、カネミ油症の患者を含めて、多くの国民が救われることはいふまでもないと思ひました。悲惨な被害者の生活、被害者の方からは油症の為に、辛せぬ家族がメチメチメチヤに破壊され、苦悶に絶する苦しみを背負つてゐる実情が話され参加した多くの人は、カネミと、政府自民党に対して激しい怒りをやしました。かわいひ恩子やをなした人や、結婚を前にして、油症の為に破産になつた人、顔や体にかきむしりできる背黒いでものの為に学校で仲間はずれにされてゐる子供の例、成長がとまつてしまつた例など患者さんの肉体的、精神的苦痛は計りしれないものがあります。

この患者さんの苦しみに対して、責任をとるべきカネミ社長、政府自民党は全く無責任な態度をとりつづけてゐます。最初は「全財産をなげ出してでも償いはする」と云つていたカネミの社長加藤三之輔は、カネミオイルの再生産が認められると、「刑事事件で結果がどうなるかわからない」とひらきながら、「診察券を出してはいるし無い油は振れぬ」と患者さんの生活費どころか通院費さえ出さずとします。一方、政府自民党は、被害者や民主勢力の声をいかに保護もしてやしません。その為に病院に行けなくなつてゐる患者さんが増えています。又北九州の場合には、交通費が自分で生活がかかるしいので、開業医が市民病院油症センターに相談について相談に行くと皮フに吹きでるものがないから油症ではないと云ふと云ふこととす。

福岡民医連

医会 聯合 民連 県福
 療機 関連 市大 字堅 路地の 御6 内
 福塔 岡西 1346 番 番西 放3520
 福 岡 民 医 会 (04)
 電 話
 行 任 者 明
 黄 香
 亮 荒

綱領と医療活動方針の 実現を目指して闘う県 民医連院所の活動

一六〇名余の後援会決起集会（戸畑）

— 医療活動方針と結合して闘う —

戸畑の健文会は、一九七〇年を前にして、政府の低医療政策に反対し、民医連綱領を守つていく上で、今回の総選挙が非常に重要であることが院所の中で、討議されました。医療情勢全体を案じていくためには、自民党と真向うから対決して闘つている共産党の議員（戸畑では田代文久候補）をたたく国会に送り出す必要性が話され、職員、患者さんを中心に、通町後援会（会長瀬戸先生）新川後援会（会長小坪先生）天六後援会（会長梅田先生）と三つの院所単位に後援会を結成しました。それぞれの院所の職員を中心に、ある院所では、医療懇話会の中で、また別の院所では患者訪問をしながら、日常の医療活動方針と結びつけて闘つてきました。宣伝も機関紙「いぶき」の号外を発行したり（四回）。そういう中で、十日に「民医連、生命と健康を守る田代後援会総決起集会」を取り組みました。

当日は、雨が降り、一段と底冷えのする日でしたが、患者さんを中心に、一六〇名の参加がありました。ある患者さんは神経痛の病気をあて、またある人は目の不自由をあてて参加しました。梅田先生（天六診療所）の医療と政治を具体的に結びつけた話や、各後援会の決起表明がだされ、田代さんを三たび国会に送り出すという決意の中で終りました。戸畑の健文会の取り組みは、現在の急速な医療政策の現実からみれば、まだ不十分ですが、後援会を中心に、残された日にも、奮闘したいと思えます。

毎日、午後から訪問活動（八幡）

— 一票よみ、目標やりとげる —

緑町診療所では、福岡県二区の田代文久（共産党）後援会に職員全員が入つて田代当選のため活動しています。

六日に職員集会

緑町診療所として、公示前の六日に、共産党の西田市会議員に来てもらつて、診療所職員の集会を開きました。西田市議員は、「共産党の開業医に対する政策を郵送した後、訪問してまず一口一万円のカンパを断ると二口してくれ多くのところでカンパをしてくれました。また共産党の政策は非常によいと思う。だがどうして実現するのかという質問が出された。」と述べ、さらに「福岡の二区では各党は候補者を選び、非常にきびしい選挙になつていきます。公明党はきれいなパンを持つて、通りがかりの人でも政策を訴えています。その党は票を二回から四回すまっています。共産党は票割みが終わっていません。共産党は七〇年を前にした選挙にえましました。勝たなければならぬ。」と述べ共産党への支持協力の訴えをしました。勝たなければならぬ。「診療所の選挙活動は日常診療、医療活動方針を追究しながら、進めていく。当面、老人検診や中断患者を訪問を毎日繰り返していき、医療制度、健保法改善、老人医療費の無料化を訴えていく中で、明るい医療を実現していき共産党をはじめ民主勢力の前進を訴えていく。」と述べました。

各部門から一名づつ午後患者訪問
 集会以後、各部門から一名づつ午後から数人が患者訪問に出かけ、

老人検診で新しく患者になつた人が数名協力を約束してくれました。後援会員患者向けに、後援会ニュースを七回一四〇枚を出して政策を訴えていき、十二日には診療所後援会の目標の集込みをやりあげることができました。町上津波個人演説会に八五名結集

木屋瀬が訪問活動と自労集積

木屋瀬診療所では、疾患別患者組織を作るため家庭訪問に入っています。さらに矢対の集団検診を取組んでいます。この中で患者が減つていくという問題になり、患者が選挙日当の訪問ではないかという意見も出されています。今患者を組織し本当に病気を治し、自分達の医療を守り発展させていくために、訪問活動を続けていくことが大切ではないか、今やることは今までのことが選挙目当てしかなかったというところになるのではないかと、今後とも系統的に進めていくうえでも、活動を続けようという意志統一が進められています。十日に派読み目標をやりあげました。

医局を中心にした、親書活動、訪問活動などで着実に前進

千鳥橋病院

インフルエンザワクチン無料化、老人、乳幼児の医療費の無料化の請願署名を地域で行い、その中で現在の医療政策の突進を患者に訴え総選挙の重大性を病院としてつたえている。また夜は各地域に医療懇話会を組織し、共産党の斉藤幸候補も出席してもらっている。病院の前に横断幕と民医連の十大選挙スローガンを六つにまためられたれ幕をかかげている。斉藤幸千鳥橋病院後援会では後援会ニュースを発行し、たまり場を集めて患者と職員が地域の活動に参加している。また夜は各院所を中心に親書活動を積極的に行い、その手紙を出した家に職員が訪問活動を行っています。

また選挙中の多忙にまぎれて患者を待たせたり、往診をこたわつたりすることがないよう、忙がしければ一層患者の立場に立つた親切でよい医療をせよと全員で確認しました。二回の土曜日午後の学習時間に民医連としての総選挙斗争について討議し、その中で毎朝八時五〇分から五十分間全職員集会でその日の意志統一を行っています。署名活動、医療懇話会を通じて患者が積極的総選挙活動に参加するようになつており、改めて日常診療活動の不足が痛感されています。中断患者訪問活動も医療活動方針の実践ということで強めるため、午後訪問活動を行っています。

たまり場をつくつて 患者と共に活動

富田町診療所

民医連新聞選挙特集号を武器に患者総あたりを行つて、選挙の重大性を訴えています。夜は主に職員を班に分けて、地域にかけて医療懇話会を組織し、健康保険法改正の内容を患者に教宣している。また診療報酬引き上げのヒラを全戸配布した。後援会活動では、たまり場をつくつて患者と共に活動している。この中で頭痛の患者も、看護婦をはじめ診療所職員の連日の奮闘にうたれて、頭痛をかさえて知人の家を見守り共にまわつている例が多数みられ、全票読み数でも患者が読んだのが圧倒的に多いのが特徴となつていく。

民医連の選挙方針にもとづいて、しつかり医療活動をつよめ、選挙の勝利のため一そう奮闘しよう。

県民医連第二回選挙責任者会議

十二月十二日、第二回県民医連選挙責任者会議が開かれました。告示を前にした五日の第一回会議以降の各院所のとりくみについて報告し合い、すぐれた教訓を学び合つて一そう活動の質を高めることを確認しました。その中で①「選挙斗争の中で患者をへたらしと云うことを絶対してはならない」(宮田町診)と云うことで管理部が患者の動態を常時把握してもし中断が出たら速刻訪問の原因をかみ究明に努力していること例えば千鳥橋病院では十一月四日の患者へつたと云うことでその原因を追及した。一応季節によるものと判断されるが十二月はそれを回復しついでに上まわり始めていること。など選挙力からこそむしる患者をどうふよむか管理部が一貫して追及して行くこと。もし患者減が起る可能性がつかまれば直ちに手を打つことなど管理部の指導の強化が確認されました。②医療活動をつよめる、慢性疾患訪問、患者相談会、疾患別患者組織のとりくみが殆んど院所でとりくまれてはいる。また宮田町診で医療相談会に聴診器をもつて出かけ、この中で高血圧中断患者など診察して中断患者問題の解決をはかるなど一そう創意性を發揮すること。③医療要求を中心にした大衆斗争をつよめること(インフレーションの無料化、老人乳幼児の医療費の無料化、国保の十割給付など市長・市議会議長への請願書をして二十日市長交渉の計画(千鳥橋病院)など)の中、今まで中断患者対策を計画しても家を探すが大変、やつと見つけ出すとつと仲々困難なつた問題がこの著名運動の中でいっつか解決して行つてゐる。地域の「道路をよくしろ」の要求をビラにして宣伝し、斗争を起している(町上津役診)など宣伝と大衆斗争をもつとよめること。④大衆宣伝では緑町三回五〇〇枚、木屋瀬診七種四五〇枚町上津役診五種三五〇枚を今までは公官・労災・大安保陣線、医療保険抜本改悪などで院所独自に運用している。その他後援会ニュース三六〇枚運用している。中友診では公害問題で一万枚のビラを民主団体の協力を求めて運用する計画でも各院所でつと大衆に運用すること。そのため民医連斗争情報を利用すること。「薬品運搬車をニュースカードにしてその薬品運搬の中で常時宣伝する。戸畑・八幡六高い高い果しよみ目標を抱けてしかも早く達成してゐるなど先進的な役割を果してゐること。とくに中島方式に学んで新しく分野を積極的拓いて行くことが確認されました。中島方式を(千鳥橋病院で福岡にまた新しい活動家が一人一人いゝ中で、秋事出入りの商人や会社を訪問しその人達の新せき友人店員仲間、会社の職員など教えてもらい、それをもつと活動しさらに子から孫へと、大きな成果を上げてゐるを全員のものにしてゆく運動)⑤後援会の結果をつよめること。戸畑三診で後援会総決起集会に患者を中心に一六一名結果しました。八幡三診や大牟田でも院所毎の総決起集会が開かれて、また宮田町診の昼休み三十分学習会、千鳥橋病院の朝五分間集会の毎日学術など職員・後援会員の結果と活動をつよめてゐること。⑥県外民医連支援委員受入れについてなどを確認しました。

以上

公害や老人問題とりあげ(大牟田)

大牟田の三院所では総選挙を、公害や老人問題などを中心に闘つてゐます。いま、これらの問題をとりあげた「みんなの健康」特集号を準備中ですが、たとえば中友診の一年間の外来患者の過半数が呼吸器疾患で、その半数が小学生以下の子供と云う驚くべき結果が出てゐます。これらの診療のなからつた子供は具体的な事実を地域にひろく訴えつゝ、選挙を闘う方針です。また、十日にひらかれた医師会の「医療費引き上げ要求」の集会にも、久留米までビラまきに行くなど、十三日には院内の総決起集会をひらき、文字どおり院所ぐるみの選挙

院所ぐるみの闘い

以上

斗争にすゝめる準備をすゝめてゐます。また、院内の後援会は、患者を中心に果しよみなど毎日活動をするなど、同時に地域の宣伝カーに「ついでいっしょ」と「運転手」を毎日おくりだすため、職場の体制づくりの討論を組織し、地域の活動を支える役割も果してゐます。また、慢性対策部ではこれらの中で注射療法にむかつていた在宅患者管理の弱さを改め、医局を中心に患者管理を強化することを決め来週より新しい体制ではじめることになりました。

医師会の集りにビラ

激励をうける

十日久留米市の映画館でひらかれた医師会後援プロットの「医療費引き上げ」の集会に大牟田の米の山病院・中友診より「国と資本家の負担で診療報酬を大幅に引上げさせよ」とのビラを入口で配りました。白衣に民医連の胸章をはめた四人がビラを抱えて入口に立つと、何人かの人が「御苦労さま」と一語ビラを配りはじめました。しばらくして、会場の方から「ソノビラの協力は中断しましたが、参加した六〇〇名位の医師は口々に「お疲れさん」「頑張りますよ」と声をかけてビラを受けとりました。

国保税大巾引き上げ(三六二名)

反対と結合して大衆政治宣伝(飯塚民診)

十二月六日の夜、せまい更衣室にスロウガンをきつりはつて、選挙事務所を開き、連日、後援会員と票の拡大のため奮闘しています。運転手一名を他地区へ支援のため派遣し、連休が一名という人員不足のなかで、とにかく勝つては休みも直明けも返上して頑張ろうと、全員が完全に意思を一致してとらんでゐます。早朝のビラ全戸配布などは、遠距離からの通勤者は、全員泊りこみで参加しています。

集団検診や患者交流会などで結びついた患者さんをたすねて後援会員になつてつたり、家を探すが大変な苦勞をしながらも、中断患者の訪問も行って、健康の問題、選挙の問題を話しあつてゐます。いま、組織活動と平行して、マイク車が活躍してゐることで患者訪問を行なつてゐる周辺で、マイク車放送して後援会員が票をばすのを側面から援助する。丁度、飯塚市議会に国保税二九、二多という大巾引きあげが提案されてゐるところですので、国保税引き上げ反対と結合して、安保、沖縄問題、暮らしと健康問題、統一戦線と政府の問題等を出して宣伝してゐます。

山野炭鉱で、民社党の懸念な買収が摘発されましたが、マイク車が時をつとす、この買収の性格と本質を暴露する上で大きな役割を果しました。期限のきまつた中で、のせりあひですからどうしても、日常業務の方がハズがちなり、どうしてもそのおくれを克服するから、頭痛のたれです。宣伝物も上からかりてくるのをどうして無駄なく運用するから、追われてゐる状態ですが、なんとしても自力のビラを出さねばと、国保税の問題で五〇〇枚印刷にまわしてゐます。

以上

